
プログラム 10月18日(土)

▶ **A** 会場(岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール) —————
[ハイブリッド開催]

8:50~9:00 会長挨拶

青山 裕美
川崎医大

9:00~11:00 会長企画 「われわれは、疾患の運命を変えることができるのか」

座長：青山 裕美(川崎医大)
藤本 学(大阪大)

PSL1 アトピー性皮膚炎は治せるのか
椋島 健治
京都大

PSL2 天疱瘡は治るのか？
高橋 勇人
慶應義塾大

PSL3 重症薬疹を止められるのか
阿部 理一郎
新潟大

11:10~12:10 特別講演

座長：岩月 啓氏(岡山大名誉教授)

SP T細胞のセルフ・ネオセルフ識別機構：新たな自己免疫疾患発症メカニズム
荒瀬 尚^{1,2}
¹大阪大免疫学フロンティア研究センター免疫化学、²大阪大微生物病研究所免疫化学

12:20~13:10 ランチョンセミナー 1 「アトピー性皮膚炎治療 UPDATE2025」

座長：大塚 篤司(近畿大)
杉田 和成(佐賀大)

LS1-1 アトピー性皮膚炎とアレルギーマーチ
～アトピー性皮膚炎治療におけるバリシチニブの活用法～
千貫 祐子
島根大

LS1-2 アトピー性皮膚炎における全身療法～イブグリースのポジショニング～
松下 貴史
金沢大

共催：日本イーライリリー株式会社

13:20～15:20 シンポジウム 1 「スキンバリアの制御機構」

オーガナイザー：青山 裕美(川崎医大)

座長：北島 康雄(中部国際医療センター)

高橋 健造(琉球大)

SY1-1 角層におけるスキンバリアの制御機構

波多野 豊

大分大

SY1-2 汗によるスキンバリアの制御機構

青山 裕美

川崎医大

SY1-3 免疫によるスキンバリアの制御機構（アトピー性皮膚炎と接触皮膚炎）

江川 形平

鹿児島大

SY1-4 感染を制御するスキンバリア機構

山本 剛伸^{1,2}

¹川崎医大総合医療センター、²川崎医大

15:30～16:20 文化講演

座長：田中 了(川崎医大)

CL 弱小チームからワールドカップで勝つまで

大野 均^{1,2}

¹ジャパンラグビーリーグワン東芝ブレイブルーパス東京アンバサダー、²元ラグビー日本代表

18:00～19:00 教育講演 1

座長：藤本 亘(ふじもと皮膚科医院)

EL1 日常診療で遭遇する顔面紅斑～酒皰、酒皰類縁疾患を中心に～

林 宏明

はやし皮膚科クリニック 兵庫県神戸市

19:00～19:10 記念写真撮影

▶ B 会場 (岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール) —————

[ハイブリッド開催]

9:00~11:00 スポンサーシンポジウム 1 「乾癬表皮からみた免疫応答 ～表皮から真皮そして、また表皮へ～」

座長：馬屋原 孝恒(川崎医大)
今福 信一(福岡大)

- SSY1-1 表皮角化細胞におけるインプット/アウトプットサイトカイン
森実 真¹、向井 知之²、砂川 滉¹、立花 宏太¹、川上 佳夫¹、大内田 守³
¹岡山大、²川崎医大免疫学、³岡山大病態生理学・創薬学
- SSY1-2 ナノ粒子化技術で高分子ヒアルロン酸を皮膚内に浸透させる！
徳留 嘉寛
佐賀大理工学研究科/先進健康科学研究科海洋エネルギー研究所化粧品科学講座
- SSY1-3 表皮細胞における CCL20、IL-33/IL-37 と AhR の乾癬病態への関与
辻 学^{1,2}
¹九州大、²九州大病院油症ダイオキシン研究診療センター
- SSY1-4 教えて戸倉先生！とどのつまり、乾癬表皮の悪者は？～表皮細胞説から免疫細胞説～
戸倉 新樹^{1,2}
¹中東遠総合医療センター、²浜松医大

共催：鳥居薬品株式会社

11:10~12:10 水疱症カンファレンス

座長：古賀 浩嗣(久留米大)
東 裕子(鹿児島市立病院)

- 水疱症 1 喉頭病変を主座とした粘膜類天疱瘡と尋常性天疱瘡重複例の臨床経過
鈴木 雄大¹、杉山 聖子¹、古賀 浩嗣²、石井 文人²、青山 裕美¹
¹川崎医大、²久留米大
- 水疱症 2 シェーグレン症候群を伴った水疱性ループスエリテマトーデス
中島 光子¹、古賀 浩嗣²、石井 文人²、井上 卓也¹、杉田 和成¹
¹佐賀大、²久留米大
- 水疱症 3 脊髄空洞症による神経障害領域に一致した部位にのみ水疱が生じなかった水疱性類天疱瘡の 1 例
土屋 夏子、伊東 孝政、村田 達弥、瀬尾 拓志、片山 奨、氏家 英之
北海道大
- 水疱症 4 DPP-4 阻害薬内服中に発症した結節性類天疱瘡の 6 例
則川 菜摘、山本 俊幸
福島県立医大

水疱症 5 癬痕性脱毛を合併した Brunsting-Perry 型限局性類天疱瘡の 1 例
 宜野座 淳善¹、下田 由莉江¹、岩崎 達朗¹、山崎 好美¹、高橋 勇人²、高坂 和子³、
 大山 学¹
¹杏林大、²慶應義塾大、³高坂皮膚科 東京都調布市

水疱症 6 タピナロフクリーム外用が奏功した顆粒状 C3 水疱症の 1 例
 坪井 芳真¹、石川 悠梨子¹、福田 麻美子¹、神澤 真紀²、鷺尾 健¹
¹神戸市立西神戸医療センター、²神戸市立西神戸医療センター病理診断科

12:20~13:10 ランチョンセミナー 2 「掻破を軸に考えるかゆみ治療の新展望
 ~アトピー性皮膚炎と結節性痒疹~」

座長：高橋 勇人(慶應義塾大)
 室田 浩之(長崎大)

LS2-1 アトピー性皮膚炎の治療ステップから考えるミチーガの使い方
 益田 浩司
 京都府立医大

LS2-2 IL-31 を標的とした治療戦略ーアトピー性皮膚炎・結節性痒疹におけるミチーガの位置づ
 けー
 澤田 雄宇
 産業医大

共催：マルホ株式会社

13:20~15:20 シンポジウム 2 「自己免疫性水疱症の診断と治療
 ー疑問を感じ考えて理解を深めようー」

オーガナイザー：杉山 聖子(川崎医大)
 座長：名嘉真 武國(久留米大)
 中井 浩三(高知大)

SY2-1 基底膜接着構造に関連した自己免疫性水疱症の診断
 大日 輝記
 香川大

SY2-2 血清学的診断の実際と解釈
 石井 文人
 久留米大

SY2-3 治療困難例から学ぶこと
 杉山 聖子
 川崎医大

SY2-4 自己免疫性水疱症の治療 基本から展望まで
 岩田 浩明
 岐阜大

15:30～16:20 スポンサーレクチャー 1 「長期寛解を見据えたアトピー性皮膚炎の薬剤選択」

座長：濱田 利久(国際医療福祉大)
波多野 豊(大分大)

SL1-1 アトピー性皮膚炎に対する生物学的製剤の現状と展望
～高齢者症例からみるトラロキヌマブの可能性～
佐藤 絵美
福岡大

SL1-2 アトピー性皮膚炎における IL-13 阻害の重要性
アドトラザーザ®の Real-world data から考察する
辻 学^{1,2}
¹九州大病院油症ダイオキシシン研究診療センター、²九州大

共催：レオ ファーマ株式会社

18:00～19:00 教育講演 2

座長：吉田 雄一(鳥取大)

EL2 下腿の発赤腫脹・浮腫の見方～蜂窩織炎の鑑別診断を中心に～
山崎 修
島根大

▶ **C** 会場 (岡山コンベンションセンター 1F イベントホール 西) —————
[ハイブリッド開催]

9:00～11:00 シンポジウム 3 「症例を通して考えよう ガイドラインの先にある皮膚悪性腫瘍診療」

オーガナイザー：田中 了(川崎医大)
座長：藤澤 康弘(愛媛大)
田中 了(川崎医大)
コメンテーター：神野 泰輔(岡山大)
西原 克彦(愛媛大)
名嘉真 健太(久留米大)
梅田 善康(川崎医大)

SY3-1 右後頭部原発悪性黒色腫の治療に苦慮した 1 例
持田 耕介
宮崎大

SY3-2 症例を通した乳房外パジェット病の考察
菅 崇暢
広島大

SY3-3 メルケル細胞癌：思い入れのある症例を振り返る
永瀬 浩太郎^{1,2}
¹ながせ皮膚科 佐賀県佐賀市、²福岡大

- SY3-4 「ケースバイケース」に対応する
田中 了
川崎医大

11:10~12:10 教育講演 3

座長：松下 茂人(鹿児島医療センター)

- EL3 悪性腫瘍の臨床研究の組み方—明日からできる臨床研究のノウハウと実際
中村 泰大
埼玉医大国際医療センター

12:20~13:10 ランチョンセミナー 3 「アトピー性皮膚炎の本質的な病態から長期寛解維持の質を考える」

座長：山口 由衣(横浜市立大)
中原 剛士(九州大)

- LS3-1 脂質から考えるアトピー性皮膚炎治療
酒井 貴史
大分大

- LS3-2 免疫機構から考えるアトピー性皮膚炎の病態と治療戦略
渡邊 玲
順天堂大

共催：サノフィ株式会社/リジェネロン・ジャパン株式会社

13:20~15:20 教育講演 4 「皮膚科医が診る病理 病理医が診る病理」

1. 炎症性疾患

座長：真鍋 俊明(京都大名誉教授)
杉田 和成(佐賀大)

- EL4-1 皮膚科医がみた炎症性皮膚疾患の皮膚病理
皮膚科医 田中 麻衣子
県立広島病院

- EL4-2 炎症性疾患の皮膚病理(病理医編)
病理医 塩見 達志
川崎医大病理学

2. 腫瘍性疾患

座長：高田 実(岡田整形外科・皮膚科・眼科)
浅越 健治(岡山医療センター)

- EL4-3 皮膚科医が診る病理～腫瘍性疾患～
皮膚科医 加来 洋
久留米大

- EL4-4 腫瘍性疾患の皮膚病理(病理医編)
病理医 塩見 達志
川崎医大病理学

16:30~17:30 福島節と渚 ライブコンサート

▶ D 会場 (岡山県医師会館 2F 三木記念ホール)

[現地開催]

11:10~12:10 共通講習 1 [医療安全]

座長：久保 宜明(徳島大)

共通 1 持続可能な医療安全

山口 道也^{1,2}¹山口大附属病院医療の質・安全管理部、²山口大

15:30~16:20 スポンサーレクチャー 2 「円形脱毛症患者さんの広がる治療選択肢
～リットフーロによる治療タイミング～」

座長：久保 宜明(徳島大)

乾 重樹(心斎橋いぬい皮フ科/大阪大)

SL2-1 新治療で変わる円形脱毛症との向き合い方—円形脱毛症患者が日々を楽しむために—

夏秋 洋平

聖マリア病院

SL2-2 リットフーロと紡ぐ円形脱毛症治療の未来

今西 久幹

大阪公立大

共催：ファイザー株式会社/ヴィアトリス製薬合同会社

18:00~19:00 教育講演 6

座長：山田 七子(鳥取大)

EL6 蕁麻疹・アレルギーの基本知識と最新知見

千貫 祐子

島根大

▶ E 会場 (岡山コンベンションセンター 3F 301 会議室)

[現地開催]

9:00~10:08 一般演題 1 「遺伝性疾患・角化症」

座長：大谷 稔男(倉敷中央病院)

山本 真有子(高知大)

1 毛包炎を伴った blaschkitis の 1 例

山崎 佳那子¹、六車 あずさ¹、村尾 和俊¹、久保 宜明¹、宮岡 由規²¹徳島大、²宮岡皮膚科医院 徳島県徳島市

2 浸水試験後の生検にて角質内に裂隙を認めた掌蹠角化症の 1 例

緒方 正浩、石元 達士、中島 喜美子、中井 浩三

高知大

- 3 KRT16 のホットスポット病的バリエーション p.Arg127Leu を同定した palmoplantar epidermal differentiation disorder の 1 例
小澤 享弘、武市 拓也、野田 達宏、棚橋 華奈、室 慶直、秋山 真志
名古屋大
- 4 表皮融解性魚鱗癬患者の出産及び出生児の皮膚管理の試み
河合 祐弥¹、古賀 浩嗣¹、山城 千晶¹、濱田 尚宏¹、中村 美彩²、木下 正啓²、武藤 愛³、
津田 尚武³、名嘉真 武國¹
¹久留米大、²久留米大小児科、³久留米大産科婦人科
- 5 EDA 遺伝子変異による無汗性外胚葉形成不全の 1 例
佐久本 政彬、山口 さやか、下山 奈緒、宮城 拓也、柳 輝希、高橋 健造
琉球大
- 6 渦巻き状色素沈着が残存し成人後に診断し得た色素失調症の 1 例
村谷 尚一郎¹、佐藤 絵美¹、濱田 義浩²、今福 信一¹
¹福岡大、²福岡大病理学
- 7 帝王切開後の合併症を契機に診断された血管型エーラスダンロス症候群(vEDS)の 1 例
八軒 秀樹¹、吉岡 愛育¹、岡野 光真²、久保 亮治¹
¹神戸大、²神戸大総合内科
- 8 ウパダシチニブが奏効した Eczematized Psoriasis の 1 例
永田 沙希、八束 和樹、桑折 信重、吉田 諭、西原 克彦、武藤 潤、白石 研、藤澤 康弘
愛媛大
- 9 リツキシマブを用いた多発血管炎性肉芽腫症の治療中に既存の尋常性乾癬が悪化した 1 例
田中 久夢¹、山村 健太郎¹、牛尾 友亮²、土橋 浩章²、大日 輝記¹
¹香川大、²香川大膠原病・リウマチ内科

10:08~11:00 一般演題 2 「湿疹・皮膚炎・蕁麻疹」

座長：武藤 潤(愛媛大)
森桶 聡(広島大)

- 10 古典的高 IgE 症候群が疑われた症例に見つかった新規 IL6ST バリエーション
池田 智毅、佐藤 絵美、清水 裕毅、筒井 ゆき、今福 信一
福岡大
- 11 デュピルマブ投与中のアトピー性皮膚炎患者の顔面紅斑とマラセチアアレルギーの関連について
酒井 雛子、杉 悠太、村田 真帆、幸田 太、占部 和敬
九州医療センター
- 12 デュピルマブ関連好酸球増多症—著明な好酸球増多を生じた 2 例—
高橋 千晶¹、井川 哲子¹、本間 大¹、岸部 麻里¹、藤田 靖幸¹、熊井 琢美²、鈴木 夕子³
¹旭川医大、²旭川医大耳鼻咽喉科・頭頸部外科、³網走厚生病院呼吸器科

- 13 結節性痒疹にネモリズマブを使用した 3 例
芝原 与喜、鑑 慎司
関東中央病院
- 14 ネモリズマブを契機に遷延した紅皮症の 1 例
前 人美、森脇 昌哉、田中 暁生
広島大
- 15 Therapeutic Effects of Vernonia Extracts-based Ointments on Severe Eczematous and Ulcerative Skin Lesions : Case Reports
Nlandu R. Ngatu^{1,2}, Marie Nsimba-Miezi^{2,3}, Severin Luzitu Nangana^{2,4},
Christian Wansu-Mapong^{2,3}, Paul Kapela Dianzenza², Yukimi Nakamura^{2,5},
Jose Lami-Nzunzu^{2,3}, Ryoji Hirota⁶
¹Department of Public Health, Kagawa University Faculty of Medicine, Kagawa, Japan, ²Congo-Japan NCDs Research Group, D.R. Congo, ³University of Kinshasa, D.R. Congo, ⁴Kimbangu Referral Hospital of Kinshasa, Kinshasa, D.R. Congo, ⁵Takamatsu Medical Center, Kagawa, Japan, ⁶Kitasato University Faculty of Medicine, Kanagawa, Japan
- 16 2S アルブミン前駆体を原因抗原と推定したヒマワリの種のアナフィラキシー：Immunoblot による検討
青木 彩加^{1,2}、深松 絃子^{1,2}、山本 剛伸^{1,2}、青山 裕美²
¹川崎医大総合医療センター、²川崎医大

11:10~12:10 教育講演 5 「近未来の皮膚科学—異分野融合による新たな挑戦」

座長：奥山 隆平(信州大)

- EL5-1 Automatic Assessment for skin microstructure and sweating (AAMS) で解析したアトピー性皮膚炎の層別化と治療反応性の予測
中元 健太¹、小出 哲士²、青山 裕美¹
¹川崎医大、²広島大半導体産業技術研究所
- EL5-2 数理モデルで挑むじんましの謎
高萩 俊輔
JA広島総合病院

12:20~13:10 ランチョンセミナー 4

座長：大日 輝記(香川大)

- LS4 発汗障害の理解を深める皮膚科学と多汗症治療の最前線
福本 毅
京都府立医大

共催：科研製薬株式会社

13:20~14:20 一般演題 3 「色素異常症・腫瘍 1」

座長：青木 恵美(鹿児島医療センター)
加持 達弥(広島市民病院)

- 17 ヘナ誘発リール黒皮症に対する 755nm ピコ秒アレキサンドライトレーザー治療の有用性
岸本 真実¹、岩山 隆憲²、堀田 信之³、福本 毅⁴
¹神戸掖済会病院、²神美庵トータルスキンクリニック 大阪府大阪市、³横浜市立大、⁴京都府立医大
- 18 ジアフェニルスルホンが著効した重症囊腫性痤瘡の 4 例
木村 優香、松尾 有華、上角 祐人、別所 史健、佐藤 佳代、片岡 葉子
大阪はびきの医療センター
- 19 保存的治療が有効であった Pseudocyst of the Scalp の 1 例
川本 一陽¹、堀 郁子¹、佐藤 秀貴²
¹中国労災病院、²広島市立北部医療センター安佐市民病院
- 20 左下肢神経痛を初発症状に判明した左坐骨神経発生神経鞘腫の 1 例
宋 基旦、井上 禎夫、山浦 真衣子、村山 友理、小泉 滋、長谷川 絢哉、碓 真雄、
小森 崇矢、中村 泰大
埼玉医大国際医療センター
- 21 フェロン療法中止後 2 度の再発を認めた悪性黒色腫の 1 例
大塚 倫代^{1,2}、山田 隆弘¹、武藤 正彦¹
¹山口県立総合医療センター、²山口大
- 22 左下肢有棘細胞癌術後に多発転移を来した 1 例
武田 浩一郎、大久保 葵、玉井 真理子、佐藤 浩子、米倉 健太郎
今村総合病院
- 23 陰部有棘細胞癌に対して放射線免疫療法が奏功した 1 例
中川 有以、中村 元樹、西村 香菜、甚目 航太、吉満 真紀、加納 慎二、加藤 裕史、
森田 明理
名古屋市立大
- 24 耳介有棘細胞癌の術後頸部リンパ節再発に対し S-1 単独療法が奏効した 1 例
長谷川 絢哉、山浦 真衣子、井上 禎夫、小泉 滋、村山 友理、宋 基旦、碓 真雄、
小森 崇矢、中村 泰大
埼玉医大国際医療センター

14:20~15:20 一般演題 4 「腫瘍 2」

座長：吉川 周佐(静岡県立静岡がんセンター)
日置 紘二郎(川崎医大)

- 25 進行期乳房外パジェット病における三次リンパ様構造 (TLS) を含む腫瘍微小環境
真柄 徹也、中村 元樹、安井 由希子、吉満 真紀、加納 慎二、加藤 裕史、森田 明理
名古屋市立大

- 26 肛門機能を温存し外科的に切除した肛門周囲乳房外 Paget 病の 1 例
仲井 大樹¹、田中 雄也¹、石元 達士¹、木戸 一成¹、市川 麻由²、宮地 英行²、
前田 広道³、中井 浩三¹
¹高知大、²高知大消化器内科、³高知大消化器外科
- 27 汗孔癌 36 例の後方視的検討：臨床的および病理組織学的検討
生駒 宗禎、藤井 一恭、後藤 啓介、戸澤 貴久、岩田 昌史、青木 恵美、松下 茂人
鹿児島医療センター
- 28 後頸部原発アポクリン腺癌の再発・転移に対して術後補助化学療法を施行した 1 例
土田 麻未¹、金本 麻裕¹、菅 崇暢¹、濱本 隆夫²、田中 暁生¹
¹広島大、²広島大耳鼻咽喉科
- 29 菌状息肉症における潰瘍形成時の免疫動態とモガムリズマブの作用機序：CD8 陽性 T 細胞とグランザイム B の役割
木村 良子¹、杉田 和成²、吉田 雄一¹
¹鳥取大、²佐賀大
- 30 抗がん剤による皮膚薬物有害反応における地域差の解析：FDA データベースを用いた日米欧の比較検討
鶴田 成二^{1,2}、佐藤 潤³、佐立 峻⁴、並川 健二郎²、山崎 直也²、沖山 奈緒子¹
¹東京科学大、²国立がん研究センター中央病院、³国立がん研究センター中央病院先端医療科、⁴国立がん研究センター中央病院生物統計室
- 31 皮膚悪性腫瘍診療に関する医療事故事例の分析
山口 道也^{1,2}、星出 まどか²、渡谷 祐介²、下村 裕¹
¹山口大、²山口大附属病院医療の質・安全管理部

32-Chair's Insight めったに遭遇しない irAE が出現した症例について

日置 紘二郎、田中 了
川崎医大

15:30~16:20 スポンサーレクチャー 3 「臨床を変える！乾癬・がん治療の最新アップデート」

座長：梅垣 知子(東京女子医大足立医療センター)
山崎 修(島根大)

- SL3-1 乾癬患者における分子標的薬治療の意義と実臨床でのデュークラバシチニブの実力
萩野 哲平
日本医大千葉北総病院
- SL3-2 理解しやすいメラノーマ薬物療法アップデートー本邦最新版ガイドライン改訂ポイントを含めてー
中村 泰大
埼玉医大国際医療センター

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

18:00~18:50 イブニングセミナー 1 「乾癬診療の守破離～患者に応じた最適な治療戦略とは～」

座長：中井 浩三(高知大)
江川 形平(鹿児島大)

ES1-1 乾癬診療はじめてのバイオ
仁木 真理子
徳島大

ES1-2 パラダイムシフトから 15 年、新時代の乾癬診療エビデンス
小池 雄太
長崎大

共催：サンファーマ株式会社

▶ F 会場 (岡山コンベンションセンター 3F 302 会議室)

[現地開催]

9:00~10:00 一般演題 5 「水疱症 1」

座長：後藤 瑞生(大分大)
山根 万里子(川崎医大)

- 33 乾癬患者に発症した尋常性天疱瘡の 1 例
橋本 萌詠美、重原 庸哉、加藤 峰幸
東京都立多摩総合医療センター
- 34 リツキシマブ投与により寛解を達成した難治性粘膜皮膚型尋常性天疱瘡の 1 例
川上 大輔¹、望月 ルカ¹、長谷川 絢哉¹、風間 絢花¹、雷 小峰¹、佐々木 大和¹、
青木 道¹、三輪 祐¹、清水 理会²、猪又 直子¹
¹昭和医大、²しみず皮膚科 東京都品川区
- 35 尋常性天疱瘡に対してリツキシマブを投与し経過良好であった 2 例
石原 朋典、鈴木 玲奈、吉岡 友梨香、藤原 真鈴、林 秀樹、和田 吉弘、村田 光麻、
金澤 伸雄
兵庫医大
- 36 リツキシマブを用いた落葉状天疱瘡の治療経過中に成人水痘を発症した 1 例
鈴木 幸奈¹、山村 健太郎¹、古賀 浩嗣²、石井 文人²、大日 輝記¹
¹香川大、²久留米大
- 37 重篤な粘膜疹を伴い治療に難渋した腫瘍随伴性天疱瘡の 1 例
吉田 ありさ¹、宮本 翔子¹、中島 美世¹、村尾 和俊¹、久保 宜明¹、古賀 浩嗣²、
石井 文人²、村尾 牧子³
¹徳島大、²久留米大、³佐川皮膚科 徳島県徳島市
- 38 天疱瘡の経過中に水疱性類天疱瘡を発症した 1 例
池田 彩乃¹、谷 直実¹、山田 七子¹、古賀 浩嗣²、石井 文人²、吉田 雄一¹
¹鳥取大、²久留米大

10:00~11:00 一般演題 6 「水疱症 2」

座長：指宿 敦子(鹿児島大)
谷 直実(鳥取大)

- 39 ステージⅣ肺腺癌に対して5年以上アテゾリズマブ投与中の乾癬患者に生じた水疱性類天疱瘡の1例
佐藤 友隆¹、岡庭 彩¹、深田 義仁¹、長坂 武²、藤野 節³、山崎 一人³、曾田 啓介⁴、山口 正雄⁴
¹帝京大ちば総合医療センター、²ながさか皮膚科クリニック 千葉県市川市、³帝京大ちば総合医療センター病院病理部、⁴帝京大ちば総合医療センター呼吸器内科
- 40 デュピルマブが有効であった水疱性類天疱瘡の1例
近藤 文菜¹、岡崎 布佐子¹、辻 登紀子²
¹岡山市立市民病院、²西川原皮膚科 岡山県岡山市
- 41 線状IgA/IgG水疱性皮膚症の1例
白藤 宜紀¹、藤田 淳史²、石井 文人³
¹岡山労災病院、²藤田皮膚科医院 岡山県岡山市、³久留米大
- 42 ネモリズマブが有効であった顕性遺伝性栄養障害型先天性表皮水疱症の1例
山本 千蘭、岡田 寛文、杉原 夏子、角 総一郎、佐藤 篤子、神谷 浩二、小宮根 真弓
自治医大
- 43 自己免疫性水疱症との鑑別を要した Bullous Amyloidosis の1例
牛飼 陽介¹、山筋 好子¹、指宿 敦子¹、具志 亮²、江川 形平¹
¹鹿児島大、²具志ひふ科クリニック 鹿児島県薩摩川内市

44-Chair's Insight 自己免疫性水疱症の診断と治療（自験例を中心に）

谷 直実
鳥取大

11:10~12:10 一般演題 7 「紅斑症・肉芽腫・皮膚潰瘍」

座長：足立 孝司(鳥取大)
下村 尚子(山口大)

- 45 鱗屑を伴う刺青部の皮疹から診断に至った刺青サルコイドーシスの1例
谷本 玲奈¹、吉田 諭¹、平松 友佳子²、桑折 信重¹、西原 克彦¹、八束 和樹¹、武藤 潤¹、白石 研¹、藤澤 康弘¹
¹愛媛大、²愛媛大眼科
- 46 皮膚生検によってサルコイドーシスと診断が確定し、腎サルコイドーシスの診断に至った1例
新井 翔¹、山崎 文和¹、濱崎 慎平¹、千葉 裕奈子¹、猪股 知微¹、松本 詩織¹、廣田 綾子¹、齋藤 麗子¹、清水 知道¹、近藤 章生¹、太田 裕一郎²、馬淵 智生¹
¹東海大、²東海大リウマチ内科

- 47 眉毛部アートメイクが誘因と考えられた両側肺門リンパ節腫脹を伴う皮膚サルコイドーシスの1例
小西 悠介、峠岡 理沙、益田 浩司
京都府立医大
- 48 アダリムマブが奏効した難治性下腿潰瘍を生じた好中球性皮膚症 (Sweet 病) の1例
菅原 成美、秋元 隆太、人見 勝博、福田 知雄
埼玉医大総合医療センター
- 49 濾胞性リンパ腫の治療経過中に GVHD 様皮疹を生じた1例
石浦 信子¹、村田 愛美¹、浦上 侑子¹、河野 志帆¹、浅越 健治¹、三道 康永²
¹岡山医療センター、²岡山医療センター血液内科
- 50 胸腺腫に合併した Thymoma-Associated Multiorgan Autoimmunity (TAMA) の1例
折茂 杏夕果、金子 高英、宮田 彩可、豊澤 優衣、高森 建二、須賀 康
順天堂大浦安病院
- 51 急性硬膜下血腫後に発症した trigeminal trophic syndrome の1例
野田 美帆¹、夏秋 洋平¹、加来 洋²、古賀 浩嗣²
¹聖マリア病院、²久留米大

12:20~13:10 ランチョンセミナー5 「膿疱性乾癬の疾患理解を深める」

座長：金澤 伸雄(兵庫医大)
藤本 徳毅(滋賀医大)

- LS5-1 最新知見から考える膿疱性乾癬の病態メカニズムと新規治療戦略
山口 道也
山口大
- LS5-2 膿疱性乾癬診断の実際と課題：ガイドライン・国際コンセンサス・実臨床の知見をつないで
大久保 ゆかり
東京医大

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 医薬開発本部

13:20~14:20 一般演題8 「ICI・irAE・薬疹1」

座長：内 博史(九州がんセンター)
杉原 悟(岡山大)

- 52 G-CSF および PTHrP 産生有棘細胞癌に対してニボルマブが奏効した1例
関山 竜五、岩澤 億斗、川嶋 久雄、望月 紅葉、千葉 一恵、松田 和樹、宮川 卓也、
佐藤 伸一
東京大
- 53 Cutaneous spindle cell squamous cell carcinoma の in-transit 転移に対しニボルマブが著効した1例
出塚 拓巳¹、角田 梨沙¹、新川 紗由香¹、新谷 悠花^{1,2}、小林 研太^{1,3}、船越 建¹、
高橋 勇人¹、中村 康平⁴、中村 善雄¹
¹慶應義塾大、²立川病院、³川崎市立川崎病院、⁴慶應義塾大がんゲノム医療センター

- 54 転移性基底細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害剤投与後に Hyperprogressive disease が示唆された 1 例
石川 英里、西原 克彦、桑折 信重、吉田 諭、八束 和樹、武藤 潤、白石 研、藤澤 康弘
愛媛大
- 55 ニボルマブ治療中に生じた肉芽腫様外観を呈する基底細胞癌の 1 例
藤澤 有珠、藤森 一希、早川 数馬、伊藤 友章、原田 和俊
東京医大
- 56 水疱性類天疱瘡とパンプス型浸潤を合併した進行期乳房外パジェット病の 1 例
松本 香奈枝¹、左田野 幹生¹、小林 雪乃¹、吉田 貴弘¹、小池 貴之¹、福代 通人¹、
岩橋 輝明²、長瀬 真実子²、新野 大介²、山口 峰一³、山崎 修¹
¹島根大、²島根大病理診断科、³大田市立病院外科
- 57 ニボルマブ投与により発症した膿疱性乾癬の 1 例
櫻井 純一郎¹、植木 理恵¹、梶野 一徳^{1,2}
¹順天堂大、²順天堂大病理診断科
- 58 ニボルマブ・イピリムマブ併用療法による指尖部細動脈血管炎の 1 例
角 総一郎、佐藤 篤子、神谷 浩二、大槻 マミ太郎、小宮根 真弓
自治医大
- 59 セレコキシブによるアナフィラキシー型薬疹の 2 例
福代 通人¹、千貫 祐子¹、松本 香奈枝¹、越智 康之¹、石飛 朋子²、山崎 修¹
¹島根大、²島根県立中央病院

14:20~15:20 一般演題 9 「薬疹 2」

座長：亀頭 晶子(JA 尾道総合病院)
佐藤 絵美(福岡大)

- 60 デュピルマブ、ウパダシチニブが奏功した薬剤性過敏症症候群 (DIHS) の 1 例
三宅 瑠、宮城 拓也、山口 さやか、柳 輝希、高橋 健造
琉球大
- 61 経過中に再生不良性貧血を発症したラモトリギンによる非典型薬剤性過敏症症候群の 1 例
甲斐 智太郎¹、竹林 宏朗¹、近藤 由佳理¹、淡田 公久²、上原 拓也³
¹市立池田病院、²市立池田病院血液内科、³市立池田病院脳神経内科
- 62 粘膜疹を主体とし、明らかな皮疹を伴わなかった Stevens-Johnson syndrome の 1 例
角野 貴應¹、有井 智美¹、加瀬 美咲¹、石元 達士¹、前田 優也²、角 環²、中井 浩三¹
¹高知大、²高知大眼科
- 63 エンホルツマブ・ベドチンによる scratch dermatitis
松江 亮範、佐藤 さゆり、宇原 久
札幌医大
- 64 テボチニブ塩酸塩水和物による薬疹の 1 例
松林 賢哉、中島 沙恵子、米倉 慧、野村 尚史、梶島 健治
京都大

65 キナーゼ阻害薬により生じた穿孔性皮膚症の1例
永濱 陽、石原 英理、宮崎 梨香子、高井 利浩
兵庫県立がんセンター

66 トラスツマブ、ペルツズマブによる薬剤性皮膚障害を生じた2例
黒木 千晶¹、一木 稔生¹、大野 文嵩¹、林 実那子¹、原 茉実¹、大村 洋文²、土橋 賢司²、
中原 剛士¹
¹九州大、²九州大血液・腫瘍・心血管内科

67-Chair's Insight 免疫チェックポイント阻害剤による重篤なirAEについて
杉原 悟、山本 アリア、神野 泰輔、森実 真
岡山大

15:30~16:20 スポンサーレクチャー4 「Start now For the future
～乾癬治療と掌蹠膿疱症治療を再考する～」

座長：藤澤 康弘(愛媛大)
山口 さやか(琉球大)

SL4-1 今、改めて考える掌蹠膿疱症の治療～他科連携も含めて～
林 美沙
日本生命病院

SL4-2 これからの乾癬診療を考えた早期治療介入の意義について
西田 絵美
名古屋市立大西部医療センター

共催：ヤンセンファーマ株式会社

18:00~18:50 イブニングセミナー2 「IL-17 受容体抗体の可能性
～患者さんに適した治療戦略を探る～」

座長：小宮根 真弓(自治医大)
井川 健(獨協医大)

ES2-1 掌蹠膿疱症患者の悩みに答える治療法
井汲 菜摘
日本大

ES2-2 尋常性乾癬と膿疱性乾癬におけるプロダルマブの役割
杉浦 一充
藤田医大

共催：協和キリン株式会社

▶ G 会場（岡山コンベンションセンター 4F 407 会議室）

【現地開催】

13:20～15:20 日本皮膚科学会「キャリア支援委員会」企画：メンター&メンティーの相談会（M&M）「わたしたちのキャリアのあゆみとこれから：次世代を支えるキャリア形成のかたち」

第1部 キャリア支援委員会 講演（60分）

キャリア支援委員会の成り立ちと歩み

多田 弥生（帝京大）

うまさんの部屋へようこそ～佐々木、なんでも話します。～

佐々木 奈津子（産業医大）

聞き手：馬屋原 孝恒（川崎医大）

これからどんなキャリア支援が必要？

宮下 梓（熊本大）

第2部 グループディスカッション or M&M 相談会（60分）

▶ ハンズオン 会場（岡山コンベンションセンター 4F 405 会議室）

【現地開催】

10:30～12:00 スポンサーハンズオンセミナー 1 「フットチェックしませんか？～白癬菌を探そう～」

※本セミナーは事前申込制となります。

1. ショートレクチャー

「直接鏡検の基本手技と教科書に載っていないコツ」

福山 國太郎

関西ろうさい病院

2. KOH 鏡検 白癬菌抗原キット ハンズオン実習

講師 原田 和俊（東京医大）

竹中 基（長崎大）

山田 七子（鳥取大・臨床研修センター）

福山 國太郎（関西ろうさい病院）

共催：科研製薬株式会社／マルホ株式会社